

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 7 月 3 日

評価対象事業		評価者	青少年課長	瀬谷 公重	
こども-28	実施事業	青少年会館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	青少年課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	青少年育成	施策の方針	青少年の育成・支援	

1 事業の目的

対象	青少年
意図	交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。
効果	青少年の健全育成に寄与する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な年齢層の青少年を対象に、各種の講座を開催した。 ・鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	177,243人	176,869人	176,869人	人 口	176,466人		・各年3月31日(住民基本台帳) ・事業の対象者0歳～29歳
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯		
	事業の対象者数	42,280人	42,064	42,064	事業の対象者数	41,828人		
	運営資源状況	決算値(千円)	34,162	33,761	33,761	当初予算(千円)	37,086	
		国県支出金				国県支出金		
		地方債				地方債		
その他		2,185	2,121	2,121	その他	1,929		
一般財源		31,977	31,640	31,640	一般財源	35,157		
事業経費運営	人員配置数	2.1	2.1	2.1	人員配置数	2.1		
	人件費(千円)	17,172	17,141	17,141	人件費(千円)	17,187		
	総事業費(千円)	51,334	50,902	50,902	総事業費(千円)	54,273		
	市民1人当りの経費(円)	290	288	288	市民1人当りの経費(円)	308		
	対象者1人当りの経費(円)	1,214	1,210	1,210	対象者1人当りの経費(円)	1,298		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・青少年会館の自主講座やイベントに支援を必要とする青少年が参加しやすいように見直しや工夫を図る。 ・見直しにあたっては、特に経費を必要とするものではないことから、予算規模は現状維持とした。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・青少年にとって自分の居場所を見出すことは、健全な育成のために必要であり、これからも青少年を対象とした各種の取組みを継続していく。 ・平成28年度に策定した「鎌倉市子ども若者・育成プラン」の重点目標である「青少年の居場所づくり」の一つとして、自己肯定感の持てる居場所づくりは必要であり、平成29年度以降も自立困難な若者に対しての取組みに努めていく。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	青少年の利用者を増やす事業の展開を図り、青少年会館が青少年の居場所の一つとなるよう更に努める。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、近隣の小学校に講座のチラシを配布した。 平成24年度から実施している鎌倉青少年会館フェスティバルは、青少年の健全育成を目的として活動しているNPO法人「鎌倉てらこや」、「鎌倉市青少年協会」、「鎌倉市青少年指導員連絡協議会」の3団体が一同に会して参加した。玉縄青少年会館については、「玉縄祭」に参加し、地域との交流やふれあいを図り、周知を図っている。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	困難に直面している青少年にとって、青少年会館が利用しやすい場となるよう更なる工夫が必要。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	青少年会館設置数							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	逗子市	葉山町			
他市実績	2	1	0	1	1			
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	青少年会館は、県から移管された市が多く、どこも老朽化している。三浦市は、青少年会館全館を平成28年1月24日に利用停止とし、旧三崎中学校教室棟の3教室を会合室として、市民が利用している。また、横須賀市は、青少年会館は、1箇所だが、市内14箇所「みんなの家」があり、だれでも、無料で使用できるコミュニティー施設として青少年会館が取りまとめている。他市と比較すると、現在、鎌倉市の青少年会館内には、子どもの家、子ども会館が併設されており、多目的に利用されている青少年会館である。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	青少年会館利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
青少年の利用者(利用率)数を増やすため。	目標値	52,200	52,300	52,400	52,500	52,600	52,700
	実績値	52,845	55,041	53,715			
	達成率	101.2%	105.2%	102.5%			
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	青少年会館は、利用者数の増加を目標としている。平成27年度は、鎌倉体育館の修繕に伴う閉鎖により、鎌倉青少年会館の団体利用者が増加した。引き続き、利用者数の増加を図る取組を進める。
-----------------------	---